

令和8年4月24日
旭川開発建設部**E5** おとなかどうろ おといねっぶ なかがわ
音中道路（音威子府IC～中川IC）**開通後2週間の交通状況をお知らせします**

～救急医療、物流において効果の声～

令和8年3月22日に開通した音中道路（音威子府IC～中川IC）の開通後2週間の交通状況等について、お知らせします。

【開通区間の交通量の状況】

- 音中道路（音威子府IC～中川IC間）の開通後の24時間交通量（2週平均）は約1,500台でした。
- 開通区間の南北に位置する国道40号や名寄美深道路の交通量も約300台（8～25%）増加しました。

【地域の声】

- 開通区間の利用者からは、音中道路の開通に伴い、救急搬送時の速達性・安定性向上や、物流面での速達性・安全性向上に伴う輸送効率化や労務時間短縮等の声が寄せられています。

※1 交通量の詳細については別紙を参照ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

道路計画課 道路計画課長 林 圭介 (0166-32-4285)

道路計画課 道路調査官 奥野 正義 (0166-32-4285)

旭川開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

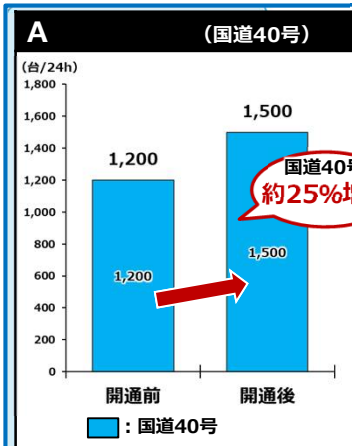
旭川開発建設部公式X（旧Twitter）アカウント @mlit_hkd_as



- ◆ 音中道路の開通後の24時間交通量（2週平均）は約1,500台であり、開通区間の南北に位置する国道40号や名寄美深道路の交通量も約300台（8～25%）増加しました。
- ◆ 開通区間の利用者からは、音中道路の開通に伴い、救急搬送時の速達性・安定性向上や、物流面での速達性・安全性向上に伴う輸送効率化や労務時間短縮等の声が寄せられています。

音中道路開通後の交通転換

● 今回の開通区間位置図



● 事業位置



地域の声：救急医療・物流における変化



消防関係者

- 平行する現道は急カーブが続くため、通常よりも注意して走行していましたが、音中道路の開通により、スムーズな搬送ができるようになり、**搬送時間の短縮**につながっています。
- 冬季も吹雪の影響を受けないことが想定されるため、**搬送時間の大幅な短縮**に繋がると期待しています。



輸送事業者

- 稚内から札幌方面へ水産物を輸送する際、悪天候時等は国道40号を利用しており、音中道路の開通後は**安全性が向上**したと実感しています。
- また、音中道路の開通により、カーブ区間が少なくなり、走行速度が向上されたことにより、**輸送時間が短縮**され、ドライバーの**拘束時間の短縮**にもつながっています。

資料：旭川開発建設部調べ
 ※開通前：令和7年3月23日(日)～令和7年4月5日(土)
 ※開通後：令和8年3月23日(月)～令和8年4月5日(日)
 (※欠測日を除く)